

独自の注型技術をコアに、 フィギュアなど多彩な分野で活躍

株式会社ユウビ造形

<http://www.yuvi.co.jp/>

全国
21

関西
21

手術訓練を目的とした模型

Company Profile

株式会社ユウビ造形

住 所／〒578-0903
東大阪市今米1-18-15
創 業／平成4年2月
設 立／平成4年9月
資本金／1,800万円
従業員／15名
T E L／072-962-7516
F A X／072-962-7436

■主な事業内容

キャラクターホビー・ロボット開発のモデル原型製作、シリコン型 金型 企画製造、ウレタン注型・加工、成型品企画、各種繊維素材 企画開発・裁縫加工

■主な取引先

医理工系大学、医療福祉メーカー、自動車部品メーカー、食品関連会社、大手テーマパーク、有名フィギュアメーカー 等



当社のセールスポイント

高品質・低コストを見据えて、
必要なものを
必要な分だけ納めます。

代表取締役

森田 寿一さん



製品を1個つくる「サンプル」という事業があります。もちろん、製品を何万個とつくる「大量生産」という事業もあります。私たちがめざすのは、注型技術をコアに100個、200個単位で納入する「中量生産」という事業。必要なものを必要な分だけ求めておられるお客様に対し、高品質・低コストを見据えた最適な方法でお応えします。



小型コミュニケーションロボット「フィノ」



「戦士の銃」ウレタン注型品

複雑な形態の造形物を 忠実に再現する注型機を開発

事業のすべてを詳しく語れないのが惜しい。そう思わずにはいられない会社だが、ユウビ造形である。

同社の設立は平成4年。脱サラから起業した森田社長は、まず婦人服用ボタンの注型業から始め、次に時流を見据えてアニメのフィギュア（人形）製作に乗り出した。

フィギュアはシリコンゴム原型に樹脂を流し込んでつくるが、ここで問題が起こる。型の中に樹脂がしっかりと行き届かないと空気が入り、細かい突起ができてしまうのだ。そこで同社では森田社長を中心に試行錯誤を重ね、独自の「遠心力技法」を実現する注型機を開発。円盤上でシリコン型を回転させて生まれる遠心力を利用することで、注入樹脂が先端まで行き渡り、フィギュアの髪の毛、爪の先まできつちりと表現することを可能にした。

以来、ゲッターロボや妖怪人間、

銀河鉄道999等、数々のフィギュアを製作し、今では関西のみならず全国にまでその名が知れ渡る存在となる。しかし、同社の本領はこれだけに留まらない。

フィギュア等で培った技術を、 安全器具や検査用治具に展開

同社がフィギュア等で培ってきた高い技術は、実に多彩な分野で発揮されている。例えば、遊戯施設の乗り物に使われる安全バー用クッションなども、同社の注型技術による製品のひとつ。これは大手テーマパークに納入されている。

また、自動車部品組立用治具にも、注型技術のノウハウを応用。これは、ある大手自動車部品メーカーの組立工程に使用されている。いずれも誰もがよく知る施設や企業だが、はじめに紹介した通り、名称や詳細は語る事ができない。それは同社が高い技術だけでなく、厳しい機密保持においても信頼を得ているからである。

産学連携による取り組みが、 ロボットや脳の模型に発展

同社では産学連携にも取り組んでおり、その成果として小型コミュニケーションロボット「フィノ」を開発。大学や研究機関を対象に販売を行っている。現在は神戸大学大学院医学研究科等と、人間の脳の模型を開発中。手術訓練用の教材としての普及をめざしている。

「当社では技術力を紹介するため、展示会に力を入れている」とは森田社長。機密保持により誌面で説明できない製品や技術について、ぜひ展示会に足を運び、その目でしっかりと確かめてほしい。

